

Y19c

## ウェブ上での彗星観察報告キャンペーンの結果報告（パンスターズ彗星、アイソン彗星）

石崎昌春, 縣秀彦（国立天文台）, 日本天文協議会 キャンペーン実行委員会

2013年は、パンスターズ彗星・アイソン彗星と、2つの彗星が太陽に接近し、肉眼でも観察できるようになることが期待された。日本天文協議会では、これを機会に、一般の方に彗星を観察する機会を持っていただこうと、彗星の観察を呼びかけ、結果をウェブ上で報告していただくキャンペーンを実施したので、結果などを報告する。

ウェブページでは、彗星がどのような天体であるかという基本的な知識や観察方法などを解説した。また、彗星を観察した場所や観察結果（見えた・見えない）を報告していただき、加えて、観察に関するコメントや撮影した写真も投稿できるような仕組みを用意した。それぞれの投稿は、地図の上で観察場所にピンを立てる形で表示され、ピンをクリックするとコメントと写真が表示される。

結果、パンスターズ彗星のキャンペーン（3月1日から4月30日）では、のべ2042件の報告があり、うち881件で写真も投稿された。また、アイソン彗星のキャンペーン（11月1日から12月20日）では、明け方での観察だったにもかかわらず、のべ1946件の報告があり、うち612件で写真も投稿された。

いずれの彗星も、肉眼での観察や、コンパクトカメラ等での簡単な写真撮影は難しかったにもかかわらず、たくさんの方が観察に成功し、多くの美しい写真が投稿された。

一方で、両キャンペーンとも、飛行機雲を彗星だと間違っ認識している投稿も多かった。ウェブに解説を掲載したものの、これまであまり空を見上げたことがない方に対して、飛行機雲と彗星の違いを説明するのは簡単ではなかった。